



第289号

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

静臨技ニュース

発行所／(一社)静臨技渉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稲川1-1-15 ヴィラセーユー稲川207
TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113

発行者／横地 常広 編集責任者／松岡 敏彦 発行日／平成26年4月1日 印刷所／小林クリエイト(株)

4月号の内容

- ◆ 静岡県医学検査学会・定時総会のお知らせ …… 1～3
- ◆ スタートアップ研修会終了報告 …… 4～5
- ◆ スタートアップ研修会感想・アンケート集計 …… 6～10
- ◆ 静岡県精度管理調査参加申込について …… 11
- ◆ 研修会終了報告 …… 11～14
- ◆ 4月 5月 6月の行事予定・会員の異動 …… 14
- ◆ 研修会・講習会案内 …… 15



レンゲソウ(蓮華草):マメ科 稀に白色もあり

静臨技よりお知らせ

『第5回静岡県医学検査学会』および『平成26年度定時総会』の開催について

6月14日(土)9時30分(9時受付開始)より、あざれあ(静岡市)にて、第5回静岡県医学検査学会を開催致します。今回の学会テーマは『施設の壁を越えた人材育成』～技師会として何が出来るか～と題し、シンポジウム4演題の中で、これからの時代を担う技師の育成について静臨技・学術としてどのような絵面を描いているのか?シンポジストに熱い思いを語っていただきます。また、特別講演には日臨技・宮島会長をお招きする予定です。会長には来年度よりスタートする“検査説明のできる技師の育成”についての具体的なプラン、そして、昨年より全国展開が始まった“検査と健康展”の狙い、その他、今後の日臨技の方向性などについてお話しいただく予定です。こんなチャンスはまたとありませんので是非お見逃しなく。

そのほかに、ランチョンセミナーを4会場で開催します。生理検査部門、血液検査部門に加え、遺伝子関連検査として遺伝子診断・治療部門と遺伝子関連ウィルス検査2会場を設定しました。学会事前申し込みにより参加者にはお弁当が出ますが、各会場、定員数を超えた場合は希望の会場へ入れない場合があります。参加申込書にて早めに事前登録を済ませて下さい。

また、学会中に平成26年度定時総会を開催致します。これを機会に、更なる技師会活動へのご協力をお願い致します。更に、今回初めての試みですが、県学会参加のお父さん、お母さん技師へ学会参加支援として会場内に託児室を設置します。参加したくても育児のために参加できない方への技師会からの支援活動ですので是非ご利用下さい。詳細は申し込み欄をご覧ください。

学会終了後に会員交流会がありますので多数ご参加下さい(参加申込参照)

働くお父さん・お母さんに朗報！

第5回静岡県医学検査学会に託児室設置



今年6月4日に開催される「第5回静岡県医学検査学会」通称県学会および「平成26年度定時総会」において、会場内に託児室を設置致します。専門の保育士さんがお子様を見守ってくださるので会員の皆さんは安心して学会に参加することができるようになりました。施設の関係上、おあずかりできるお子様の人数に限りがあります。また、当日の申し込みはお受けできませんので、早目の予約をお勧めします。

予約は下記用紙にて事前申し込みとなります。必ず学会参加申し込みと一緒に申し込み下さい。受付後詳細を連絡致します。

第5回 静岡県医学検査学会 託児申込書

託児場所 : あざれあ内 「こどもの部屋」
 対 象 : おおむね1歳6カ月～小学校就学前のお子様 (定員15名)
 お預かり可能な時間 : 9時～11時30分 および 12時30分～16時30分
 お預かり料金 : 無 料

申込日 平成26年 月 日

| | | |
|------|-----------|-----|
| ふりがな | | |
| 氏 名 | (会員番号.) | |
| 施設名 | (施設 No.) | |
| 連絡先 | 住所〒 | |
| | TEL | FAX |
| | E-mail | |
| | (連絡事項) | |

| お子様のお名前 (ふりがな) | 年 齢 (学会当日現在) | 託児希望時間帯に○ |
|----------------|--------------|--------------|
| | 歳 ヶ月 | AM ・ PM ・ 終日 |
| | 歳 ヶ月 | |
| | 歳 ヶ月 | |

※受付後、学会事務局から 詳細説明書 と 託児申請書(あざれあ専用) をお送り致します。

- ・ 申込書に必要事項を記入し、静臨技事務所宛にFAXをお願いします。
- ・ 提出締切日：5月30日(金) (定員15名になり次第締め切ります)

送付先：静臨技事務所 FAX 054-287-4113

平成25年度スタートアップ研修会終了報告

組織部長 原田 勉（沼津市立病院）

2月23日（日）に静岡市にあります静岡県産業経済会館にて、静臨技平成25年度新人対象スタートアップ研修会が開催され、40名の若手会員が参加してくれました。

昨年度は1泊2日でしたが今回は1日での開催となり、朝から夜まで非常に濃い内容でしたが、1日を通して講師も受講生も活気のある楽しい研修会となりました。

研修1 では【当直・日常業務で困ったことはなんですか？】と題しグループワークを行い、はじめは様子を見ながら静かにしていた参加者も1時間半後の発表時にはすばらしいチームワークを発揮していました。

研修2 ランチョンセミナー【技師会について知っておこう】は、日臨技・静臨技の組織の目的、組織体制、活動などについて解説され、技師会が「職能団体」であると共に「学術団体」であって、臨床検査技師のためだけでなく「国民の健康」のために活動する団体であり、その目的を果たすために様々な活動を行っていることがわかっていただけたと思います。

研修3 【知っておこう、効果的なプレゼンテーション】はアボットジャパンの吉田輝倫先生よしだてるのりをお迎えし、大声で“ア”の発生から始まりアイコンタクト、“3対7技法”“180度技法”などのテクニックやコミュニケーションについて実技指導さながらの研修で、大盛り上がりでした。この研修を受けた皆様は、「早くプレゼンをやってみたい」気持ちでいっぱいだと思いますので、各施設の指導者の皆さんは是非その機会を与えてあげてください。

研修4 【会長講演】は、横地静臨技会長から、検査技師として、また一社会人として働く上で大切な気持ちの持ち方や考え方などについて講演され、先輩技師からのすばらしい助言を得ることができたことと思います。

会場をかえて行われました【ナイトセミナー】はこの研修の集大成でもあり、伊藤事務局長のMCのもと、“コミュニケーション力”“発表力”“技師会力(?)”をおおいに発揮して理事共々楽しく過ごさせていただきました。

研修会終了後のアンケートではほぼ全員より大変ありがたい評価を頂き、本研修が有意義であったことを確認いたしました。

静臨技の若手会員の皆様が、今回得たことを基に施設を越えたコミュニケーションを大切にしてい、より活発な学術的・社会的な活動を行い、静臨技の輪を広げていただくことを大いに期待いたします。参加者の皆様お疲れ様でした。

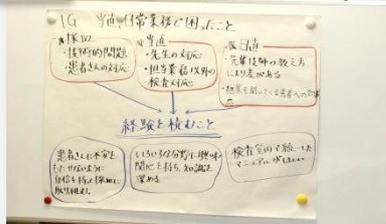


研修1【当直・日常業務で困ったことはなんですか？】 勝又理事

グループワーキング発表



平成25年度



トップ研修会



研修2 ランチョンセミナー【技師会について知っておこう】

日臨技広報

山口常務理事

これからの私たちは

- 組織運営の充実をはかる
- 国際学術交流を推進する
- 学術事業の活性化をはかる
- 「国民のため」のチーム医療を実践する
- 国民への広報活動を強化する

日臨技発展のために

- 会員一人一人の努力と協力
- 行政や医療他団体への働きかけ
- 学術部門の拡充
- 臨床検査の精度保証
- 将来を見据えた方向性の策定
- 公益法人取得を目指しての活動

ひとりの力は皆のために、
皆の力はひとりのために

研修3【知っておこう、効果的なプレゼンテーション】 吉田 輝倫 先生



『スタートアップ研修会に参加して』

石井 友香子（聖隷沼津病院）

今回、私は静臨技主催のスタートアップ研修に参加してきました。県内で臨床検査技師として働いている1年目から6年目の40人近い方が参加していました。いくつかのグループが生まれ、一人二つずつ持ち寄った日常業務の困ったことについて話し合った後、アボットジャパンの講師の方から効果的なプレゼンテーションの仕方を学びました。プレゼンテーションをする際は一人を5秒ずつ見ながら話すアイコンタクト、隅から隅まで見回す180度技法、そして身体は動かして話す事が大事だという事を教わりました。実際にグループ内でアナウンサーのように文を読むという実技を行いましたが大変難しかったです。ただ、先生のお話だとプレゼンテーション力は練習で身に付くとの事なので、人前で話す事が苦手な私ですが、プレゼンテーションをしなければならなくなった際は、今回教わった事を生かしたいと思います。そして、今回の研修で、何より私の一番の収穫は歳の近い技師との情報交換が出来た事です。普段、他の病院の技師とお話しする機会がないので、他の施設ではどういう対処をしているか、日直や当直の運営はどのように行っているか様々な疑問を聞く事が出来ました。病院が違うだけでなく部門も異なる為、様々な意見が飛び交いましたが、自分が不安である当直業務は自分だけでなく皆同じように不安を抱いている事、他部門の検査に当直中関わる事の怖さなど皆が感じている事に安堵を覚えました。又、以前より悩んでいたお年寄りの方への対応について、静臨技の役職者の方の御意見を聞いた事は本当に良かったです。今回の研修で学んだプレゼンテーション力だけでなく、他の技師との出会いを生かせるよう、日常業務の臨みたいと思います。

村越 大輝（静岡県立総合病院）

今回、静臨技スタートアップ研修会に参加してとても良い経験をさせて頂きました。

知っておこう、効果的なプレゼンテーションではプレゼンテーションをする際のコツやテクニックを体感しながら学ぶことができました。横地会長の話にもあった様に、話を聞いた満足感（絵に描いた餅）で終わらせない為にも、今回学んだ事を自分なりに吸収して、実践していきたいと思いました。

井上 卓（静岡県立こども病院）

今回の研修会では、普段経験できないことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。様々な施設の人達と行っていく研修の中で、意見を共有したり、自身の考えを客観的に見ることができました。また、プレゼンについて学ぶ研修では、実技を通してプレゼンのコツを学び、改めて人に自分の考えを聞いてもらい、それを理解してもらうことはとても難しいことだと実感しました。今回の研修で学んだことを少しでも今後の仕事に生かしていけるように頑張りたいと思います。

杉山 智恵（聖隷健康診断センター）

今回スタートアップ研修会に参加し、内容の濃い一日を過ごすことができました。

日常業務の疑問点について、私のグループでは患者対応や電話対応で困った時の意見が多く挙げられました。グループで話し合うことで普段の業務をあらためて振り返ることができました。病院ならではの話を聞くこともでき、健診センターで働く私にとっては新鮮でした。また、技師会についてのお話では、目的や取り組みなど知らないことが多くあり勉強になりました。様々な施設の方々との交流を通じて、楽しみながら多くのことを学ぶことができました。ありがとうございました。

澤口 諒（聖隷沼津病院）

スタートアップ研修会に参加して、グループディスカッションでは、それぞれの悩みを聞くことができ、自分だけが悩んでいるのではなく、他の人たちも同じように悩みを抱えていることが分かり、悩みを共有し解決の糸口へとつなげることができたと思います。プレゼンテーションの講義では、実際にやってみる体験型で、楽しみながら学ぶことができました。今後発表する機会があると思うので、この体験を生かしていけたらと思います。会長のお話では、臨床検査技師が今後どのように医療にかかわっていくべきかということや、検査以外にもやっていかななくてはいけないことがあるということを知ることができました。ナイトセミナーでは、研修に参加した方々と親睦を深めることができ、有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



研修 4【会長講演】「次世代への継承(警鐘)」横地会長

ナイトセミナー 伊藤事務局長

原田 佳奈 (聖隷予防検診センター)

先日はお忙しい中、ありがとうございました。この研修で多くのことを学ぶことができました。研修1では、困ったことや悩んでいることの共有ができ、深く話し合うことができてためになりました。また、理事の方から直接お話を聞くことができてとても参考になりました。プレゼンテーションの研修では、実践練習が多かったのが納得しながら研修を進めていくことができました。会長の講演を聞き、今のままの自分に満足することなくより良い臨床検査技師になれるよう日々努力していきたいと思いました。

ハビブザデ バネギ メヘレダド (聖隷浜松病院)

先日は大変有意義な研修をありがとうございました。

それぞれの研修において、同じ疑問等を持つ人たちとの課題の共有、プレゼンテーションの大切さ、行動の重要性や私たち新人に求める将来像を先輩の方々に教えて頂いた事でより検査技師に誇りをもって勤める事が出来ると思います。すべての研修の中でいろんな病院の人たちと知り合いになり親交を深められ、通常とは違うアプローチを行えた事が一番の収穫でした。またこのような研修を企画して頂けたら幸いです。本当にありがとうございました。

竹島 千晶 (静岡厚生病院)

知り合いも少なく不安ながらに参加した研修会でしたが、楽しく研修を進めることが出来ました。日常業務での困ったことについての話し合いでは、皆同じような悩みを持っていたことがわかり、また理事の皆さまからも貴重なアドバイスをいただくことができました。プレゼンテーションについての研修では目を見て話すことを中心に、実践形式で学ぶことができました。横地会長の講演では患者様の為に臨床検査技師としてできること、病院での臨床検査技師としての役割などいろいろと考える機会になりました。最後のナイトセミナーでは伊藤事務局長が大いに盛り上げてくださり、皆でおいしい食事をいただきながら和気あいあいと過ごすことが出来ました。普段なかなか交流を持つことが出来ない他病院の技師さんたちと楽しく学ぶことができ、参加できて良かったと思いました。このような機会を設けて下さった理事の皆さまに心より感謝申し上げます。

松浦 由佳 (磐田市立総合病院)

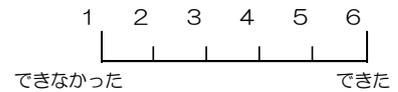
今回私ははじめて技師会主催の研修会に参加させていただきました。

プレゼンテーションの研修では体を動かしながら実践するという予想していなかった事態に最初は戸惑いましたが、グループで発表の練習をしていくことでグループ内の親睦が深まり、いろいろな病院や部署の取り組みや問題点を聞くことができました。「ああ、どこの病院も同じなんだなあ。」と思うこともあれば「こんなことをやっている病院もあるんだ!」と思うこともあり、これからの業務へ向かう視野が広がったように感じます。今回学んだことや、新たに知り合うことが出来た仲間とのつながりを無駄にせずによりよい医療人を目指して努力していきたいと思いました。

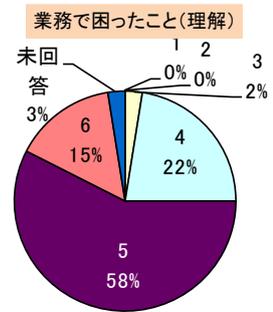
この研修に参加して・・・

1. 研修のねらいについてどれ程理解できましたか？

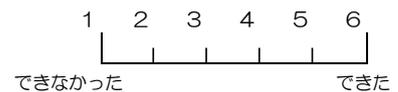
1) 「当直、日常業務で困ったことはなんですか？」について
(それは何故ですか)



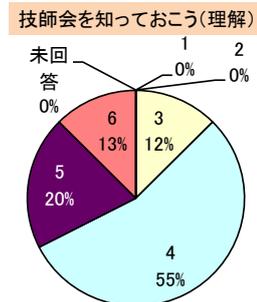
- 伝えたいことを話す方法が難しい
- 健診と病院での当直内容は理解できないが困っていることに共感できた
- 同じくらいの経験年数の技師と話すことで不安なことや困っていることなど話し合せて解決策まで考えられたから
- 他の人達の考え方や意見を聞き疑問への答えや、意見の共有ができた
- 自分の意見を客観的に見直すことができたから
- 自分の疑問の答えが見つかった
- 意見交換ができた
- 経験をつむことが大切とわかった
- 皆が同じ悩みであることがわかり安心した
- チームで出た意見を掘り下げて考えることができた
- 理事のアドバイスが分かりやすかった
- 日常業務を見直すいい機会になった
- コミュニケーション能力の必要性を感じた
- もう少し早めに「最終的に解決策を出す」についての説明・補足がほしかった



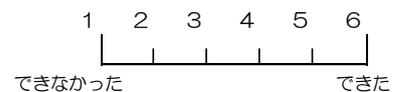
2) 「技師会について知っておこう」について
(それは何故ですか)



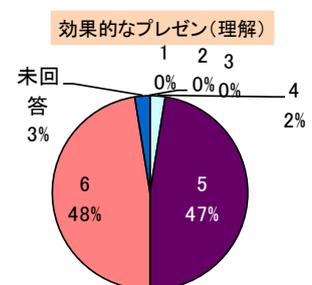
- 技師会の取り組みを知ることができたためになった
- 日臨技により技師業務の範囲が広がったことが分かった
- ランチョンセミナーは初めての体験で、食べながら話を聞くのが難しかった
- 検査の幅を広げる活動をしていることが分かった
- 食事が気になってしまった
- 日臨技、静臨技の会員として自覚を持つ必要を感じた
- ホームページ等のしっかり内容を見る機会がない
- 技師会での活動があるのでその予備知識を得て活動目的を知っておく



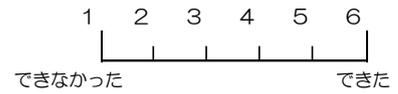
3) 「知っておこう、効果的なプレゼンテーション」について
(それは何故ですか)



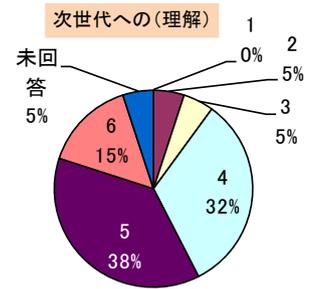
- 色々なプレゼンの方法を勉強できたができない自分を知り難しさに驚いた
- 非常に分かりやすく180° 技法など実践できるものが多く取り組んでいきたい
- プレゼンに必要なポイント、スライドを作るポイントが分かったから
- 自分の伝えたいことを理解してもらえる方法が分かった
- 人前で話すのが苦手なためとても勉強になった
- 理解はできたが実際行うのは難しい
- 非常に分かりやすい説明で、体験型がよかった
- 今後実践していきたい
- 組み立てや人の目を見て話すことを学べた
- 講師の説明が聞きやすく、分かりやすかったので集中して聞くことができた
- プレゼンへの苦手意識をへらす
- 実践することでより効果的に身についたと思う
- 分かりやすく「体感」することができたので良かった
- 楽しくできた
- これまでは自己流のプレゼンだったがこれからは上手なプレゼンをしていきたい
- プレゼンの内容でなく自分の振舞い方が大切だということ学んだ



4) 「次世代への継承(警鐘)」について
(それは何故ですか)

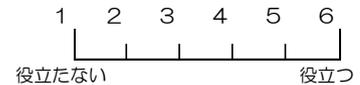


- 今後どのようなモチベーションで取り組んでいくべ気が分かりたためになった
- 自分たちのためだけでなくチームのために場を変えるのは大変大切と思った
- 単純に自分の仕事へのモチベーションを高くするだけでなく、「人」が作る「場」が検査科を良くしていくことを実感した
- 検査科にいる技師として日々意識の持ち方について学ぶことができた
- 病院とは検査技師1人で作り上げるのではなく、スタッフ全員で作りに上げていくものだと改めて感じた
- 説明力のある納得できるお話で色々と考えさせられた
- 難しかった
- 勉強になった
- 技師を取り巻く環境は変化するので対応していかなければならぬと思った
- 技師は検査精度を保つだけでなく、自分たちの持つデータを生かすことでよい現場にしていけることが分かった
- まだ1~4年目位の若者でも自分たちでステップアップしていかなければと感じた
- 検査室としての運営や病院・他部署との関わり方について
- 会長がご自分の体験を語ってくださったので理解しやすかった

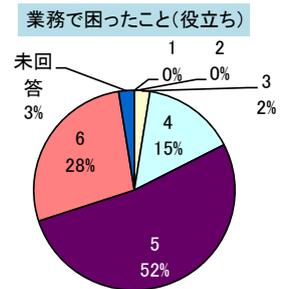


2. この研修で学んだことは、今後どのくらい役立ちますか

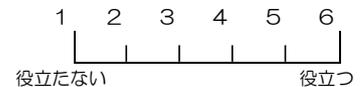
1) 「当直、日常業務で困ったことはなんですか？」について
(それは何故ですか)



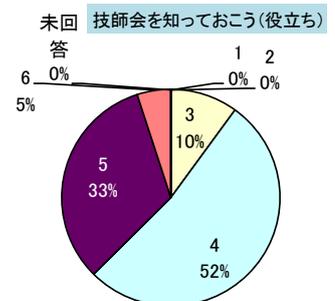
- 他の病院の人達がどのような考えで業務をしているのかが分かった
- 経験をつんでいきたい
- やはり何事もコミュニケーションが大切だと実感した。先輩・患者さん、他職種の方との積極的にコミュニケーションをとっていくことが必要と思った
- 周りの人がやっていることに使えそうなことがあったから
- 今日学んだことを明日に生かすことができる
- 他の人の同じような悩みを抱えていることが分かりよかった
- 経験年数にかかわらず解決方法は同じだと分かった
- 対応について話し合えた
- 今後の業務に役立つと思った
- 身近な題材でのディスカッションだったのですぐに実践に移せると思った
- 共感できる部分が多かった
- 新人教育をする上で役立つ
- 受診者から検査結果について聞かれることが多いが、どのように対応しているかを聞き参考になった
- 理事から患者さんに対しての敬語に使い方について意見が聞いてよかった
- 他の病院との違いが知れてよかった



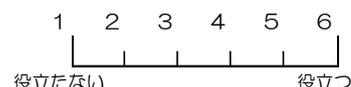
2) 「技師会について知っておこう」について
(それは何故ですか)



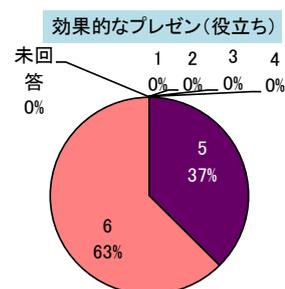
- 技師会の取り組みを知り勉強することができた
- 検査技師の職域を広げるために動いてくださっていることが分かった
- ホームページや会報誌から技師としての知識や情報を得られると思った
- まだまだ知らないことがたくさんあると実感した
- ホームページや会報誌を見ようと思った
- 知る機会があまりないため聞いてよかった
- 多くの活動をしていることが分かり、自分も将来かかわっていきたくと思った
- 今後もっと知っていききたい
- 日臨技の歴史が学べた
- 自分の所属する場所を知ることで自分の行動すべきことが明確になる
- 技師会活動を再認識できた
- 定期的にチェックしようと思う
- 一員として技師会活動に参加していきたい



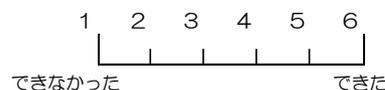
3) 「知っておこう、効果的なプレゼンテーション」について
(それは何故ですか)



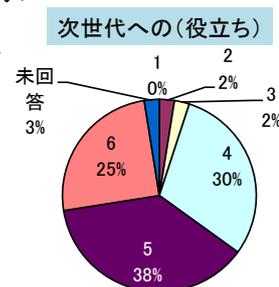
- 今まで教えられなかったことを知ることができた
- アイコンタクトや180° 技法などでできそうなものは取り組みたい
- 効果的なプレゼンに必要なことは今すぐにも実践できることがほとんどだった
- 対人とのコミュニケーションの中でも使っていきたいと思ったから
- 人に伝えることの難しさを改めて感じ、改善することの多いことが分かった。少しずつ改善していきたい
- 日常でも使えるものと思った
- 今回の研修での実践を実際場で使えるようにしていきたい
- 積極的に参加でき、しっかり目を見て話すことができた。今後も人と話すときはしっかり目を見て話そうと思う
- 実践できることが多かったので活用していきたいと思った
- 発表する機会があれば参考になる話が聞けた
- 実際に発表することがあると思う
- 簡単そうで難しいことを実践的に学べた
- 学会などで活用できる
- 人に伝えるために大切なことを学べた
- すぐに役立つ
- 楽しく学べた
- 人前で話すのが得意ではないので役立つ



4) 「次世代への継承(警鐘)」について
(それは何故ですか)



- 今後、どのような考えを持つべきかについて勉強になった
- 今できることは少ないかもしれないがチームの一員としてできることをしていきたい
- これからがんばりたいことや目標が具体的に明確になった
- 一人の技師として常に与えられている状態のままではいけないことが分かり、少しでも意識的に取り組む姿勢を大事にしたいと感じた
- 常に患者様のためによりよい検査室をめざしていかなければならないと感じた
- 難しいお話でしたが今後の業務で心がけていこうと思った
- 院内へは結果だけでなく情報も発信していくべきだと思った
- 今以上の意識を持っていかなければならないことに気づかされた
- 技師として多くのことに参加し、改善していきたいと思った
- よりよい検査部にするために役立つと思う
- ただ検査を受身で行うのではなく、技師として病院・患者に何ができるのかを考えなくてはと思った
- 自分にはあまり関係ないと思う部分もあった
- 仕事に対する姿勢を改めて考えることができた
- 自分がやるべきこと、やりたいことをしっかり考えます行動したい。周囲のこともしっかり考え支えあいながら日常業務に取り組みたい
- 上の方々が何を行い私たちに何を求めているのか理解することができた
- これからの検査室、検査技師のあり方について自分なりに考えて行動していきたい
- 1年目なので検査を正確に行うことで精一杯だが、今後のモチベーションが上がった
- 技師が他のコメディカルスタッフとどう関わるかについて自分でもよく考え直し、協力していく立場になりたいと感じた
- もう少し経験を積んだ上でもう一度聞きたいと思った
- これからもっと経験を積んでいきたい
- 今後自分たちが検査室の中心になったとき大事な考え方なので参考にする
- 自分の仕事の内容を多方面に役立てていけるようになりたい
- 自分の施設のことだったので特に興味深かった
- 今後自分たちが検査や経営に積極的に参加していこうという意識が持てた



3. その他気づいたこと、感じたことがあれば書いてください。
(プログラム、時期、期間、進行、担当者など、なんでも)

- ありがとうございます
- 1日で行うより泊まりで行ったほうが体力的には良いと思う
- 業務やプレゼンについて幅広い内容だったので、聞いていて参考になることばかりだった

お知らせ

平成26年度 静岡県臨床検査精度管理調査 参加募集延長

静岡県精度管理調査 統括 清水憲雄

本年度の静岡県精度管理調査も例年同様 5月中旬に実施されますが、現在、Webにて参加申込みを受け付けております。申し込み案内では4月5日(土)期限となっておりますが、**期限を延長して4月12日(土)までとさせていただきます。**

まだ済ませていない施設は早々にお申し込みをお願い致します。

☆ 求人情報 ☆

(一社)静岡県臨床衛生検査技師会では、ホームページに求人情報の掲載を行っています。

求人情報掲載の申し込み方法等のお問い合わせ先

〒410-2211 伊豆の国市伊豆長岡 1129

順天堂大学医学部附属静岡病院 検査室 勝又 俊郎 まで。

E-mail : jtd_kensa_tk@yahoo.co.jp TEL : 055-948-3111 (内線 1021)

研修会終了報告

| | |
|------|---|
| 事業名 | 細胞診従事者講習会 |
| 開催日 | 平成26年2月22日(土) |
| 会場 | 静岡赤十字病院 別館4階 第一会議室 |
| 参加人数 | 52人 |
| 内容 | 『細胞診断に役立つ乳腺画像 (エコー、マンモグラフィ(MMG)、MRI)の読み方と乳癌診療の進め方』 乳腺外科の先生を講師にお招きし、講義していただきました。 乳腺の超音波、CT、MRIの画像の読み方を丁寧かつわかりやすく教えていただきました。 また、今回は細胞診に特化した内容ではないので、病理関係者以外の参加者もみられ、大変盛況な研修会となりました。 |

| | |
|------|--|
| 事業名 | 平成25年度 第3回 微生物検査研修会 |
| 開催日 | 平成26年2月24日(月) |
| 会場 | 静岡県立総合病院 6階 つつじホール |
| 参加人数 | 46人 |
| 内容 | 『災害感染症の実態と対策』 東北大学 災害科学国際研究所 教授 服部 俊夫 先生 『災害感染症とは』 静岡県立大学短期大学部 教授 古賀 震 先生 『災害感染症に必要とされる検査』 日本微生物研究所 検査部長 佐藤 俊夫 先生 東日本大震災から3年が過ぎようとしています。本県も大地震がいつ起きても不思議ではないと言われています。 東日本大震災時の状況の写真なども見せていただきながら、災害時の感染症について多くのことを学ぶことができた。 |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 平成 25 年度 第 2 回静岡県標準化事業講習会 |
| 開催日 | 平成 26 年 3 月 1 日 (土) |
| 会 場 | 静岡県立総合病院 循環器センター 6F つつじホール |
| 参加人数 | 64 人 |
| 内 容 | <p>今年度 2 回目の全県講習会でしたが、64 名の参加をいただきました。若手技師の発表の場としては少し大変かと思いましたが約 30 分間のプレゼンを担当していただき、学会では十分説明できない内容まで詳細に解説していただきました。皆さん工夫をこらした非常にいい発表だったと思います。今後も、各地区の意見交換会で好評だった事例を取り上げ、全県講習会でバージョンアップしながら日常検査での教訓事例を広く知っていただくような形式を続けていけたらと思います。</p> <p>標準化委員会および精度管理委員会として、昨年夏に行った脂質トライアルサーベイの報告をさせていただきましたが、非常にたくさんのデータを抱え、皆さんに十分な報告ができなかった点は少し申し訳なく思っております。今後は、精度管理調査等に結果を生かすよう再度学会誌への投稿などの紙面を利用して結果報告をして行きたいと思っております。</p> <p>また、特別講演として東海市民病院・山内昭浩先生に、ALT の静臨技精度管理調査結果を題材に挙げながらお話しいただきました。本講演では試料の保存安定を図るための条件と保存条件によるデータに与える影響について大変分かり易く解説していただきました。臨床化学の精度管理委員には、講演内容を参考に来年度の精度管理調査に役立てていただけたら幸いです。</p> <p>今回は、講習会全体を通して大変活発な討論ができたと思います。これは講習会での討論が定着したことや司会進行がととも良かったことがその理由かと思われまます。今後もこうした活発な会が継続できるよう、主催者としても演題の選定に趣向を凝らしていきたいと思っておりますので、今後ともたくさんの方にご参加いただきますようお願い致します。</p> |



☆ 会員投稿募集 ☆

技師会では会員の皆様の原稿を募集しています。ジャンル等は問いません。

※採用された方には粗品を進呈いたします。

ご意見・ご要望・情報等もお待ちしております。

渉外広報部（編集責任者）松岡敏彦まで t.matsuoka@hmedc.or.jp

会報 3 月号（抜粋カラー版）をホームページに掲載しましたので是非ご覧ください。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 平成 25 年度 静岡県標準化事業 第 10 回 東部地区意見交換会 |
| 開催日 | 平成 26 年 3 月 7 日 (金) |
| 会 場 | 三島商工会議所 4 階 会議室 B |
| 参加人数 | 41 人 |
| 内 容 | <p>第 10 回東部地区意見交換会は 41 名と多数の参加をいただきました。「精度管理調査における ALT 低値の原因を考える」は、ALT C 評価だった施設のアンケート調査解析により、各施設に試料が到着してから測定までの試料保存温度に影響を受けた可能性について報告していただきました。この事象をふまえて施設に -80℃のフリーザーがない場合、測定方法に注意が必要としています。「輸液混入等によるデータ解析に苦慮した事例」は、1 症例は透析前後のデータ変動に加えて回路中の生理食塩水が混入してしまった為データ解析が難しくなったことと、2 症例目は輸液混入による高血糖、高カリウム値についてどのように臨床と連絡をとるか、異常データの対応について意見がだされました。「各社市販管理血清の表示値・管理幅の信頼度について考える～各メーカーへの調査結果からの考察～」は、精度管理をする上でメーカーが保証する管理試料を使用している施設は多いと思います。機種間差、日差、バイアル間差等を網羅した管理幅が設定されていることをユーザーは知っておくべきだとあらためて認識しました。</p> <p>アンケート調査に協力していただいたメーカーの皆さんに感謝致します。参加された会員皆さんの質問と意見、賛助会員の皆さんからの回答と意見、大変有意義な時間を取ることができました。</p> |



| | |
|------|---|
| 事業名 | 平成 25 年度 健康食品管理士会 中部支部研修会・市民公開講座 |
| 開催日 | 平成 26 年 3 月 9 日 (日) |
| 会 場 | 富士市フィランセ 大ホール |
| 参加人数 | 118 人 |
| 内 容 | <p>教育講演.1 「フルクトース摂取と生活習慣病」 藤田保健衛生大学医療科学部 臨床検査学科 准教授 大橋 鉦二 先生</p> <p>教育講演.2 「肺の生活習慣病 COPD (慢性閉塞性肺疾患)」って何？ ～食事との関係、予防、呼吸リハビリテーションについて～ 岐阜医療科学大学保健科学部 臨床検査学科 教授 高崎 昭彦 先生</p> <p>特別講演 「健康食品の安全確保において必要な知識」 独立行政法人国立健康・栄養研究所 梅垣 敬三 先生</p> <p>市民公開講座という事もあり、一般市民が多数参加されました。 教育講演では、大橋先生・高崎先生がユーモアのある面白おかしい講演をして頂きましたが、真剣にメモを取られる参加者が目立ちました。 梅垣先生の特別講演では、健康食品が関係した被害や健康食品と賢く付きあうポイントなどをお話ししていただき、熱心に聴講され質問をされていました。 今後も機会があれば、企画をしたいと思います。</p> |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 平成 25 年度 第 4 回 微生物検査研究班研修会 |
| 開催日 | 平成 26 年 3 月 15 日 (土) |
| 会 場 | 静岡県立総合病院 6 階 つつじホール |
| 参加人数 | 33 人 |
| 内 容 | <p>昨年実施した薬剤感受性検査の静岡県内のアンケート結果の報告を、グラム陰性桿菌を主に行った。ESBL・カルバペネマーゼ・AmpC など院内感染に関わる重要な耐性菌の検出に関しては、とても興味深いものであった。</p> <p>今年から保険収載された、ヒトメタニューモウイルスと、プレセプシンについて講演を行った。ヒトメタニューモウイルスは、RS ウイルス、インフルエンザウイルスの流行の後にピークが来ること、また罹患年齢分布、臨床症状についてお話していただいた。</p> <p>敗血症診断の新しいマーカーのプレセプシンについては、敗血症の病態から、プレセプシンと他のバイオマーカーとの違い、臨床試験データまで提示していただいた。</p> |



平成 26 年 4 月・5 月・6 月の行事予定

4 月

- 5 日 (土) 平成 26 年度 学術部門長会議 : あざれあ
- 10 日 (木) 静岡県臨床衛生検査技師会 平成 25 年度監査 : 静臨技事務所
- 21 日 (月) 平成 26 年度 第 1 回 理事会 : 静臨技事務所
- 26 日 (土) 平成 26 年度 第 1 回 輸血細胞治療部門研修会 : あざれあ

5 月

- 17 日 (土) 静岡県臨床細胞学会 第 35 回 春期学術集会 : 静岡市立静岡病院

6 月

- 7 日 (土) 平成 26 年度 第 1 回 臨床一般部門研修会 : パルシェ
- 14 日 (土) 第 5 回 静岡県医学検査学会 : あざれあ
- 平成 26 年度 定時総会 : あざれあ
- 会員交流会 : グランドホテル中島屋
- 21 日 (土) 平成 26 年度 中部圏支部拡大幹事会 : 名古屋市

静臨技会員数 2014/3/20 現在
1,488 名 日臨技総合情報システムより

臨床検査関連研修会・講習会 (1)

平成 26 年 3 月 20 日までに申請を受理し承認された研修会等を、下表のとおりお知らせします。

平成 26 年 (4) (敬称略)

| 日時・会場・参加費 | 研修内容・講師 (敬称略) | 点数・担当・連絡先 |
|--|--|---|
| <p>4 月 26 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>あざれあ 505 会議室</p> <p>会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p> | <p>平成 26 年度 第 1 回 輸血細胞治療部門研修会</p> <p>1. 輸血療法の実施に関する指針の解説 市立島田市民病院 亀山 拓哉 技師</p> <p>2. 認定輸血検査技師試験の傾向と対策 焼津市立総合病院 橋ヶ谷 尚路 技師</p> <p>3. 合格者からのアドバイス 静岡済生会総合病院 中野 翔太 技師 静岡市立清水病院 斉藤 実佳子 技師</p> <p>「輸血療法の実施に関する指針」は輸血室の運用の核となる指針です。輸血検査に配属されたがこの指針をまだ読んでいない、読んで分からないところがあるという輸血検査の経験が 1 ~ 3 年目位の方を対象にした超基礎講座です。</p> <p>また、昨年の認定輸血検査技師試験に合格した技師からアドバイスをいただきます。今後、認定輸血検査技師を目指している方は是非参加して下さい。</p> | <p>No. (140000263) 検体—専門—20 点 市立島田市民病院 臨床検査室 亀山 拓哉 (0547-35-2111) (内線 2711)</p> |
| <p>5 月 17 日 (土) 14 : 30 ~ 17 : 30</p> <p>静岡市立静岡病院 西館 12 階講堂</p> <p>参加費 無料</p> | <p>静岡県臨床細胞学会 第 35 回 春期学術集会</p> <p>14 : 30 ~ 16 : 10 一般演題</p> <p>16 : 20 ~ 17 : 20 講演 静岡がんセンター 伊藤 以知郎 先生 細胞診陰性報告を巡る責任の所在と法律的解釈 関東臨床細胞学会学術集会 (9 月) での シンポジウムの意義</p> <p>主催 : 静岡県臨床細胞学会 共催 : (一社) 静岡県臨床衛生検査技師会 病理細胞部門</p> | <p>No. (140001578) 検体—基礎—20 点 静岡県立 静岡がんセンター 本田 勝丈 (055-989-5222)</p> |
| <p>6 月 7 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>JR 静岡駅ビル パルシェ 7 階 会議室</p> <p>会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p> | <p>平成 26 年度 第 1 回 臨床一般部門研修会</p> <p>14 : 00 ~ 15 : 00 『尿定性検査について』(仮) アークレイマーケティング株式会社</p> <p>15 : 10 ~ 16 : 40 『最新の尿沈渣所見から腎疾患を見る ~血球編~』 東京女子医科大学病院 中央検査部 横山 貴 先生</p> <p>16 : 40 ~ 質疑応答</p> <p>3 月に福井で行われた臨床検査医学会の演題を基礎から分かりやすく静岡で講演していただきます。</p> | <p>No. (140001310) 検体—専門—20 点 社会保険 桜ヶ丘総合病院 検査部 杉山 聡子 054-353-5311 (内線 1112)</p> |

研修会・講習会の詳細は、開催案内やホームページでご確認下さい